



**11/5(日)**  
R.シュトラウス作曲 オペラ『ばらの騎士』

他団体とのオペラ共同制作の4年目となる今年は、イギリスのグラインドボーン音楽祭との提携公演。九州でも数少ない本格オペラが上演できるiichikoグランシアタに、イギリスで使用された舞台装置が運ばれてきました！ドイツ語による上演でしたが、字幕の設置でわかりやすく、そして音楽、表情などの演技力で初心者にも理解しやすい公演でした。観客からは「演奏や歌声はさすが！舞台セットからも話の流れや雰囲気が伝わっていい」「無料の託児所があるので来ることができました。ありがたい取り組みです」などの声が寄せられました。

世界スケールで贈る  
ロマンティックオペラ



**11/14(火)**  
平成二十九年度 松竹大歌舞伎  
iichiko presents 大分公演

病気療養中だった中村獅童さんの復帰第一番となったのは、歌舞伎三大名作の一つとされる「義経千本桜」。その一幕「すし屋」の、小悪党ながらどこか愛嬌のあるいがみの権太を、人間味たっぷりに演じました。片岡亀蔵さん、中村亀鶴さんらによる常磐津の舞踊劇「釣女」も併演。妻がほしいと願掛けした大名と太郎冠者が、夢のお告げで獲た釣竿で妻を釣るが、醜女を釣り上げ騒動を繰り広げる喜劇に、会場からは笑いが湧きおこりました。この日は大分市の向陽中学校の生徒が、授業の一環として歌舞伎を鑑賞。迫真の演技に見入り、滑稽な動きに笑いと、舞台を生で鑑賞する醍醐味を味わっていたようでした。

迫力の演技で完全復帰をアピール  
古典歌舞伎の名作を上演

**12/10(日)** ※本番の情報はP10  
iichikoグランシアタ・ジュニアオーケストラ  
第9回定期演奏会練習



この日は、本番の指揮者である船橋洋介さんと、別府市出身の若手ピアニスト渡邊智道さんとの初対面、初練習の日。「怖い先生

だったらどうしよう」とドキドキの子もたちでしたが、「すべてのパートに耳を傾けてくれ、細かいところまで指導してくれてありがたい」と、少しでも多くのことを吸収しようと必死です。緊張感漂う中、『ニュルンベルクのマイスタージンガー』等を練習しました。

**10/6(金)**  
ワンコインリレーコンサートVol.3  
宮本妥子 マリンバ&打楽器コンサート



宮本妥子さんと後藤ゆり子さんが、ステージ上に並べられたマリンバなど様々な打楽器に移動しながら、時に激しく、時にコミカルに演奏。マリンバ用に編曲した「アメージンググレイス」や、「お寺の打楽器」木魚を使った「山寺の和尚さん」など幅広いバリエーションで、打楽器の魅力を存分に伝えてくれました。関西弁のほんわかとしたトークを交えつつの体験コーナーも、大いに盛り上がりました。

**12/18(月)**  
ワンコインリレーコンサートVol.4  
ヴァイオリン 弦の歌声 ~大分が生んだヴァイオリンの貴公子~



気軽に楽しめる人気のワンコインコンサート。今回は、東京交響楽団のコンサートマスターを務める大分市出身の水谷晃さん

が、「iichiko音の泉ホール」の舞台に立ちました。公私ともに仲がいいというピアニスト・加藤洋之さんとの息もぴったり！F.クライスラーの「愛の悲しみ」やO.メシアン「主題と変奏」など、艶やかな音色と多彩な選曲で優雅な名演を聴かせてくれました。

**12/10(日)** ※本番の情報はP10  
第2回 OITA BROADWAY  
MUSICAL THEATER 稽古



この日のミュージカルシアターの稽古曲は『美女と野獣』の「ベル」。Wキャストでベルを演じる主役の2人が初めて参加した歌の稽古が

行われました。歌唱指導の小林仁先生が実際に歌って手本を示しながら、1曲を細かく分析し、練習していきます。難しい音程の部分は、特に丁寧に。ベル役の2人は「プレッシャーと緊張感があります」と言いながらも、のびのびとした声を響かせていました。